

第1回令和2年7月豪雨等復旧・復興工事情報連絡会議（仮称）次第

日時：令和3年2月17日（水）13時30分～

会場：（メイン会場）ザ・ニューホテル熊本「鳳凰」（熊本市西区春日1-13-1）

（リモート会場）各広域本部及び各地域振興局等 11会場

次 第

1 開 会

2 挨拶 九州地方整備局 企画部長

3 連絡会議の設立について

令和2年7月豪雨等復旧・復興工事情報連絡会議規約説明

4 議 事

（議題1）復旧・復興工事の進捗状況について

- ① 国土交通省九州地方整備局
- ② 農林水産省九州農政局・九州森林管理局
- ③ 熊本県・市町村

（議題2）不調・不落の状況について

- ① 国土交通省九州地方整備局
- ② 農林水産省九州農政局・九州森林管理局
- ③ 熊本県・市町村

（議題3）復旧・復興工事及び通常工事に関する今後の発注計画等について

- ① 国土交通省九州地方整備局
- ② 農林水産省九州農政局・九州森林管理局
- ③ 熊本県・市町村

（議題4）建設資機材や労働力の確保に関する現状と課題について

- ① 国土交通省九州地方整備局
- ② 熊本県建設業協会

（議題5）円滑な施工確保対策について

- ① 国土交通省九州地方整備局

（議題6）土砂処分の状況について

- ① 県南広域本部土木部

5 意見交換

6 その他

7 閉 会 熊本県 土木部長

令和2年7月豪雨等復旧・復興工事情報連絡会議の設立

規約説明

令和２年７月豪雨等復旧・復興工事情報連絡会議規約（案）

（名称）

第１条 本会議は、「令和２年７月豪雨等復旧・復興工事情報連絡会議（以下、「情報連絡会議」という。）」と称する。

（目的）

第２条 情報連絡会議は、令和２年７月豪雨等により被災した公共土木施設等に係る復旧・復興工事を円滑に進めるため、各地域の施工体制の確保等に係る様々な課題に対し、関係者間において情報共有や対応策の検討を行うことを目的とする。

（協議事項）

第３条 情報連絡会議は、下記事項について協議する。

- （１）復旧・復興工事に関する発注計画の共有
- （２）建設産業の現状と課題の共有
- （３）建設資機材や労働力の確保に関する現状と課題の共有
- （４）適正な発注について
- （５）発注情報の一元化
- （６）その他、情報連絡会議で必要と認める事項

（組織）

第４条 情報連絡会議は、国土交通省九州地方整備局及び熊本県で主催する。

２ 構成員は別表に掲げるとおりとする。

（役員）

第５条 本会議に、次の役員を置く。

議 長 １名

副議長 １名

（役員の選任）

第６条 議長は、熊本県土木部長をもって充てる。

２ 副議長は、国土交通省九州地方整備局企画部長をもって充てる。

（役員の職務）

第７条 議長は、本会議の会務を統括する。

２ 副議長は、議長を補佐し、議長に事故があるときはその職務を代行する。

（会議の開催）

第８条 情報連絡会議は、必要に応じて開催する。

（事務局）

第９条 情報連絡会議の事務を処理するため、事務局を設置する。

２ 事務局は、熊本県土木部監理課に置くものとする。

（その他）

第１０条 この規約に定めるもののほか、情報連絡会議の運営に必要な事項は、情報連絡会議において協議のうえ定める。

附 則

この規約は、令和 年（ 年） 月 日から施行する。

(別表：情報連絡会議の構成員)

機 関 名		職 名
国土交通省	九州地方整備局	企画部長
		企画部 技術調整管理官
		企画部 技術開発調整官
		建政部長
		建政部 建設産業調整官
		営繕部 営繕品質管理官
		熊本河川国道事務所長
		八代河川国道事務所長
		八代河川国道事務所 八代復興出張所長
		熊本復興事務所長
		菊池川河川事務所長
		川辺川ダム砂防事務所長
		立野ダム工事事務所長
		緑川ダム管理所長
		熊本営繕事務所長
農林水産省	九州農政局	農村振興部 設計課長
		土地改良技術事務所長
	九州森林管理局	計画保全部 治山課長
		熊本森林管理署長
		熊本南部森林管理署長
熊本県	土木部	土木部長
		政策審議監
		監理課長
		土木技術管理課長
		下水環境課長
	農林水産部	農林水産政策課長

		技術管理課長
	全広域本部	土木部長
		農林水産部長
	全地域振興局	土木部長
		農林部長
市町村	全市町村	土木主管課長、農林水産主管課長、契約主管課長のうち、市町村長が指名する者
建設業関係団体	(一社) 熊本県建設業協会	会長
		全支部長
	熊本県採石業協同組合	理事長
	熊本県生コンクリート工業組合	理事長
	(一社) 熊本県法面保護協会	会長
	(一社) 熊本県測量設計コンサルタンツ協会	会長
	(一社) 熊本県警備業協会	会長

※、構成員は、今後必要に応じて追加することもあり得る。

(議題 1)

復旧・復興工事の進捗状況について

- ①国土交通省九州地方整備局
- ②農林水産省九州農政局・九州森林管理局
- ③熊本県・市町村

(議題1)

復旧・復興工事の進捗状況について



(河川 堆積土砂の掘削状況)



(国道219号 工事予告看板)

(記者発表資料)

・令和3年1月29日記者発表資料より抜粋

http://www.qsr.mlit.go.jp/yatusiro/site_files/file/news/r2/20210129kisyu.pdf



令和2年7月豪雨を踏まえた
「球磨川水系 緊急治水対策プロジェクト」を開始します。

～流域のあらゆる関係者が協働し、まちづくりと連携した治水対策の推進～

令和2年7月豪雨において甚大な被害が発生した球磨川水系における、今後の治水対策の取組として、「球磨川水系 緊急治水対策プロジェクト」をとりまとめました。今後、流域のあらゆる関係者が協働し、まちづくりと連携した治水対策を進めて参ります。

「球磨川水系 緊急治水対策プロジェクト」の概要

○ 以下の3つを柱として取り組んでいきます。

- ①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ②被害対象を減少させるための対策
- ③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

※詳細については、別紙をご覧ください。

【問い合わせ先】

＜球磨川流域治水協議会＞

事務局

国土交通省 九州地方整備局 河川部 河川計画課長 山上 直人

電話(代表)092-471-6331

熊本県

企画振興部 球磨川流域復興局 政策監 福原 彰宏 電話 096-333-2610

土木部 河川港湾局 河川課長 菰田 武志 電話 096-333-2507

球磨川水系 緊急治水対策プロジェクト

～流域のあらゆる関係者が協働し、まちづくりと連携した治水対策の推進～

- 令和2年7月豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえ、球磨川においては、国、県、市町村等が連携し、被災した箇所、河道掘削、堤防整備、輪中堤・宅地かさ上げ、遊水地等の取り組みを集中的に実施することにより、令和2年7月豪雨と同規模の洪水に対して、越水による氾濫防止※（人吉市の区間等）、家屋の浸水防止※（中流部）など、流域における浸水被害の軽減を図る。
※従来から検討してきた貯留型ダム並びに再開発後の市房ダムによる洪水調節の効果を含む
- 令和3年出水期に向けて、浸水被害箇所等の堆積土砂の撤去やタイムラインの改善等を緊急的に実施する。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○河川区域での対策

- ・河道掘削、堤防整備、輪中堤・宅地かさ上げ、遊水地、放水路（御溝川）等

全体事業費 約1,540億円

事業期間 令和2年度～令和11年度

- ・新たな流水型ダム、市房ダム再開発

調査・検討に令和3年度から本格着手

- ・利水ダム等6ダムにおける事前放流等の実施、体制構築 等

○集水域での対策

- ・水田、ため池等の活用
- ・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備
- ・森林の整備・保全
- ・土砂や流木の流出抑制対策（砂防、治山） 等

■被害対象を減少させるための対策

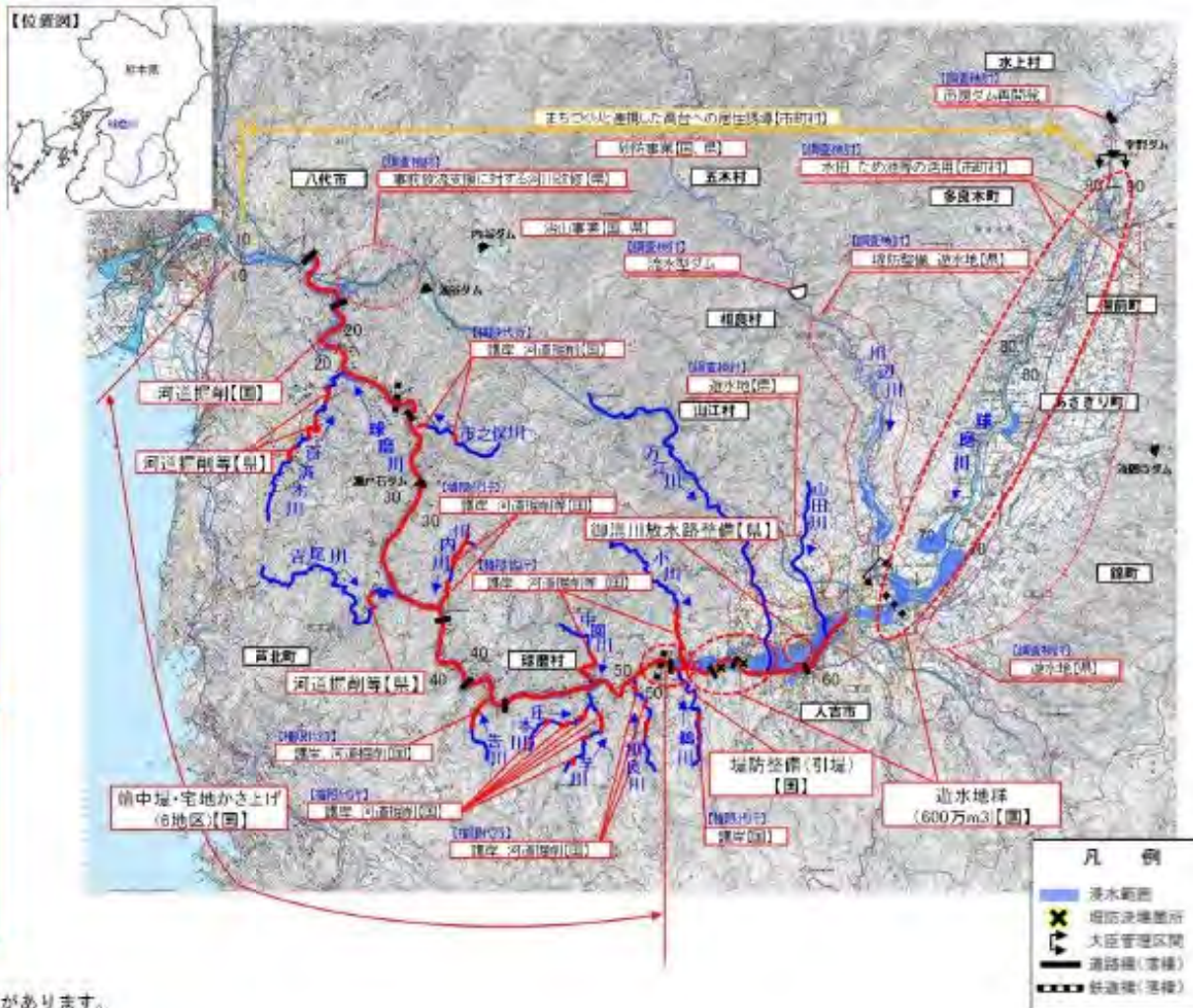
○氾濫域での対策

- ・まちづくりと連携した高台への居住誘導
- ・土地利用規制・誘導（災害危険区域等）・移転促進
- ・不動産取引時の水害リスク情報提供
- ・二級堤、自然堤防の保全
- ・排水門等の整備や排水機場等の耐水化 等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

○氾濫域での対策

- ・R2.7豪雨の課題を受けたタイムラインの改善
- ・講習会等によるマイ・タイムライン普及促進
- ・ネットワーク回線の二重化
- ・WEB版のハザードマップ作成
- ・庁舎等の浸水対策の実施
- ・水防備蓄倉庫の拡充 等



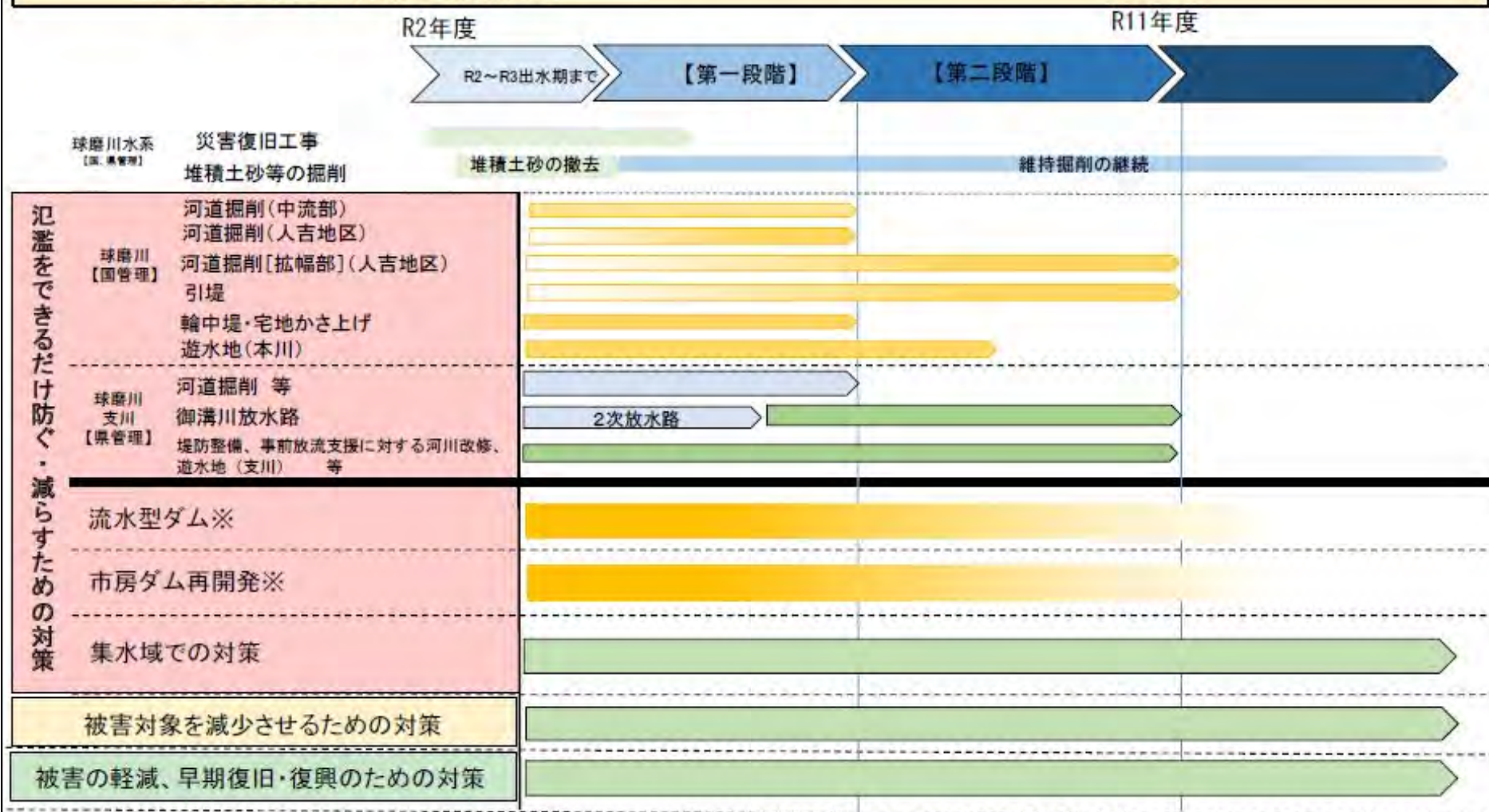
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

球磨川水系緊急治水対策プロジェクトメニューの実施計画

【令和3年度出水期まで】可能な限りの堆積土砂の撤去及び堤防決壊箇所の本復旧を実施する

【第一段階】堆積土砂の撤去、災害復旧工事を進めるとともに上下流バランスを考慮の上、河道掘削を最大限実施し進捗を図る。輪中堤・宅地かさ上げをまちづくり等と連携して完成させる。また、遊水地、引堤等に必要な用地確保に着手。県区間においては放水路整備や河道掘削等を推進。流水型ダム、市房ダム再開発の調査・検討に着手し進捗を図る。

【第二段階】早期に遊水地(本川)を完成。河道掘削[拡幅部](人吉地区)、引堤、県区間堤防整備、遊水地(支川)等の完成。引き続き流水型ダム、市房ダム再開発の進捗を図る。



※調査・検討の結果を踏まえて、事業期間等を決定

球磨川水系緊急治水対策プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策(堆積土砂の掘削:国管理区間等)について

1

○河道内の土砂掘削を令和2年12月末時点で約38万m³分を施工中であり、今後さらに32万m³を実施し、令和3年度出水期までに約70万m³の土砂を掘削予定。

【施工状況】

①



R2.11撮影

②



R2.11撮影

③



R2.11撮影



施工中 : 約38万m³
 今後の予定 : 約32万m³
 合計 : 約70万m³
 ※令和3年度出水期までの対応

【施工状況】

④



R3.1撮影

⑤



R3.1撮影

⑥



R3.1撮影

5

球磨川水系緊急治水対策プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策(堆積土砂の掘削:権限代行分)について

2

- 権限代行により直轄にて緊急復旧対策を実施中である9河川については、緊急的な対策を令和2年9月30日に完了し、現在、被災前の河道確保と被災施設の復旧を実施中。
- 引き続き、令和3年度出水期前までに可能な限り進むよう時間的緊迫性をもって取り組む。

撤去済 : 約 5万m³
 施工中 : 約 15万m³
 合計 : 約 20万m³
 ※令和3年度出水期までの対応



施工状況

②川内川(掘削状況)



②川内川



④芋川



⑤中国川



⑧那良川



球磨川水系緊急治水対策プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策(災害復旧:国管理区間等)について

4

【球磨川水系緊急治水対策プロジェクト 河川区域での対策 災害復旧】

- 対策内容 : 堆積土砂掘削、護岸補修、堤防整備他
- 事業期間 : 令和2年度～令和4年度(目標)

堤防決壊、護岸損傷、土砂堆積等

堤防決壊(緊急復旧状況)

堤防決壊箇所(左岸55.0k付近)



堤防決壊箇所(右岸56.4k付近)



護岸被災状況



【復旧イメージ】



堤防補修

【被災状況】



【復旧イメージ】



- ・堤防決壊箇所の本復旧については令和3年度出水期までの完成を目標。
- ・堆積土砂の撤去については引き続き令和3年度出水期までに可能な限り撤去を行い、その後も引き続き進めていく。

【平面図】



凡 例

- 浸水範囲
- 堤防決壊箇所
- 被災箇所
- 大臣管理区間
- 道路橋(落橋)
- 鉄道橋(落橋)
- 権限代行河川

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism



Press Release

令和3年2月2日

八代河川国道事務所

鎌瀬橋、坂本橋、相良橋の3橋への仮橋の設置が
令和3年5月末までに完了
～ 仮橋設置により球磨川流域市町村の生活再建を支援 ～

○令和2年7月豪雨により被災した、八代市から人吉市間の国道219号のほか県道等、流失した橋梁10橋を含む約100kmについて、国の権限代行により、災害復旧事業を鋭意進めているところです。

○現在、道路の応急復旧、流失した橋桁の撤去、現位置で応急復旧可能な鎌瀬橋、坂本橋、相良橋の3橋への仮橋設置を進めています。

このうち、3橋への仮橋設置については、令和3年5月末までに完了する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

○これにより、通学路や生活道路としての機能が回復するとともに、球磨川流域市町村の生活再建を支援してまいります。

○引き続き、早期の全線復旧に向け、全力で取り組んでまいります。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所 八代復興出張所

工事品質管理官 山北 賢二

TEL : 0965-37-8421 (直通)

FAX : 0965-37-8422

国道 219号 鎌瀬橋 被災状況

<被災状況概要>

○上部工:A1~A2間 約113.2m流失
 <応急復旧>
 仮設ガーダー橋による仮橋架設

■鎌瀬橋諸元

橋長 :113.2m

橋梁形式:鋼単純アーチ橋
 +鋼2径間鉄桁橋

建設年次:1954年(昭和29年)



被災前の状況(令和2年6月3日時点)



至人吉

至八代

被災後の状況(上部正流失状況 A1~A2間)



至人吉

至八代



仮橋イメージ

至八代

主要地方道 坂本人吉線 坂本橋 被災状況

<被災状況概要>

○上部工:A1~A2間 約121.1m流失(車道橋・側道橋共)
 <応急復旧>
 仮設ガーダー橋による仮橋架設

■坂本橋諸元

橋長 :121.1m

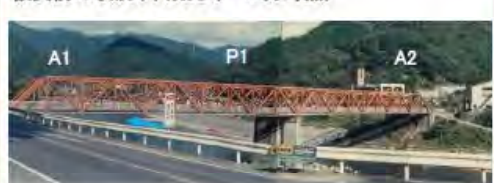
橋梁形式:鋼2径間連続トラス橋

建設年次:

<車道橋>1954年(昭和29年)、<側道橋>1978年(昭和53年)



被災前の状況(平成元年 10月時点)



至国道219号

至坂本支所

被災後の状況(上部工流失状況 A1~A2間)



至国道219号

至坂本支所



仮橋イメージ

至坂本支所

一般県道325号 遠原渡線 相良橋 被災状況

<被災状況概要>

○上部工:P1~A2間 約110m流失(車道橋)

<応急復旧>

仮設ガーダー橋による仮橋架設

■相良橋諸元

橋長 : 132.0m

橋梁形式: 鋼単純トラス橋

建設年次: 1934年(昭和9年)



被災前の状況(平成15年 3月時点)



至八代

至人吉

被災後の状況(上部工流失状況 P1~A2間)



至八代

至人吉



至八代

至人吉

令和2年7月豪雨 国道219号等災害復旧(直轄権限代行)復旧状況

令和3年1月29日時点



○ 道路の応急復旧: 球磨川兩岸道路全線

○ 流失橋梁への仮橋設置: 鎌瀬橋、坂本橋、相良橋

○ 流失した橋桁等の撤去: 深水橋、坂本橋、鎌瀬橋、大瀬橋、神瀬橋、相良橋、沖鶴橋

【仮橋設置状況】

坂本橋

(2月5日現在)



鎌瀬橋

(2月5日現在)



相良橋

(2月5日現在)



【流出橋撤去状況】

深水橋

(1月28日現在)



大瀬橋

(1月28日現在)



【流出橋撤去状況】

神瀬橋

(2月2日現在)

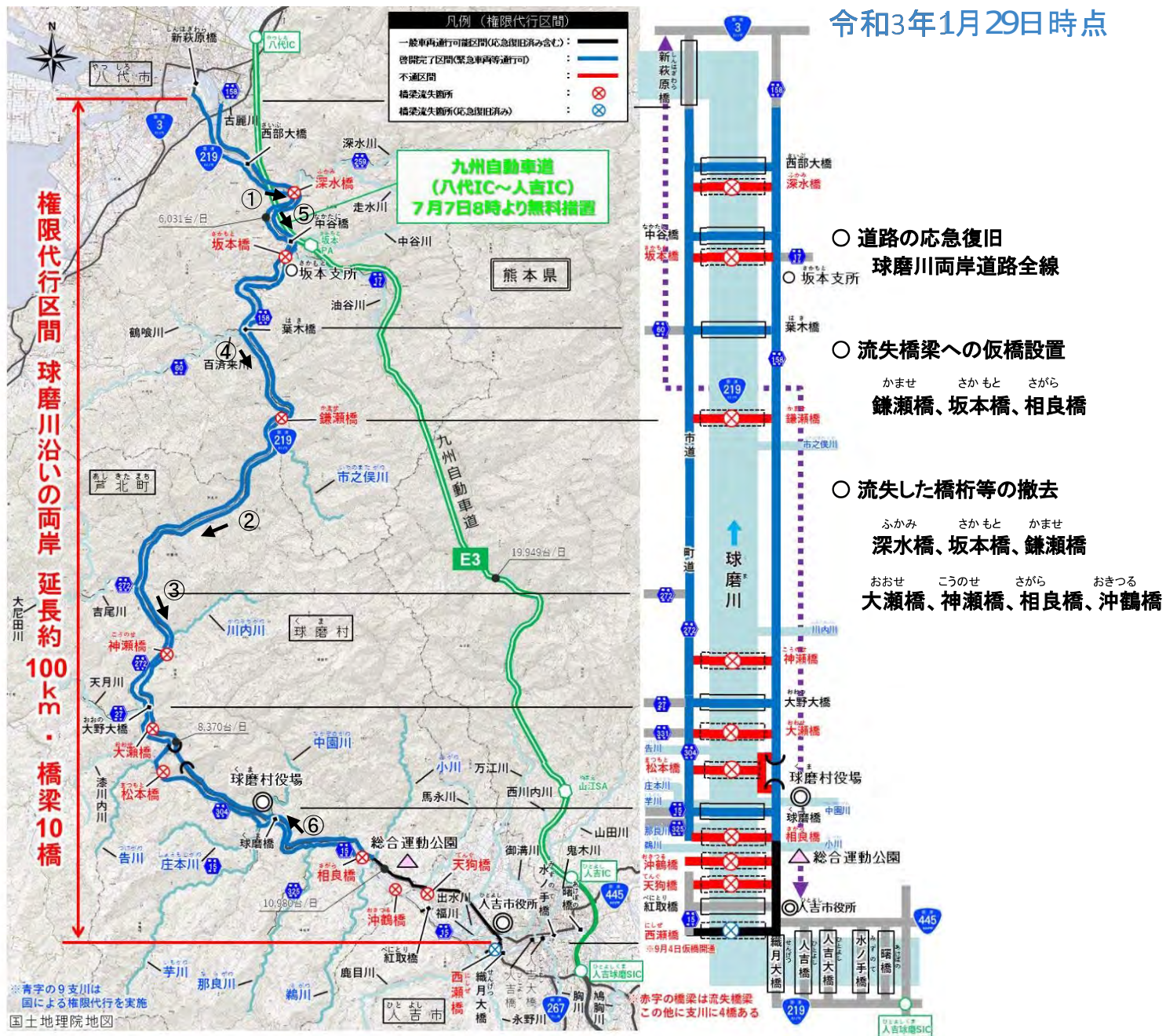


沖鶴橋

(2月5日現在)



令和2年7月豪雨国道219号等災害復旧（直轄権限代行）復旧状況





遥拝頭首工 7月4日(12時前)洪水最大程度



右岸側(土砂吐・洪水吐)



頭首工 下流側から



頭首工上流から 八の字堰



遙拝頭首工 現況図 S=1:500

球磨川

スクリーン昇降装置 水没



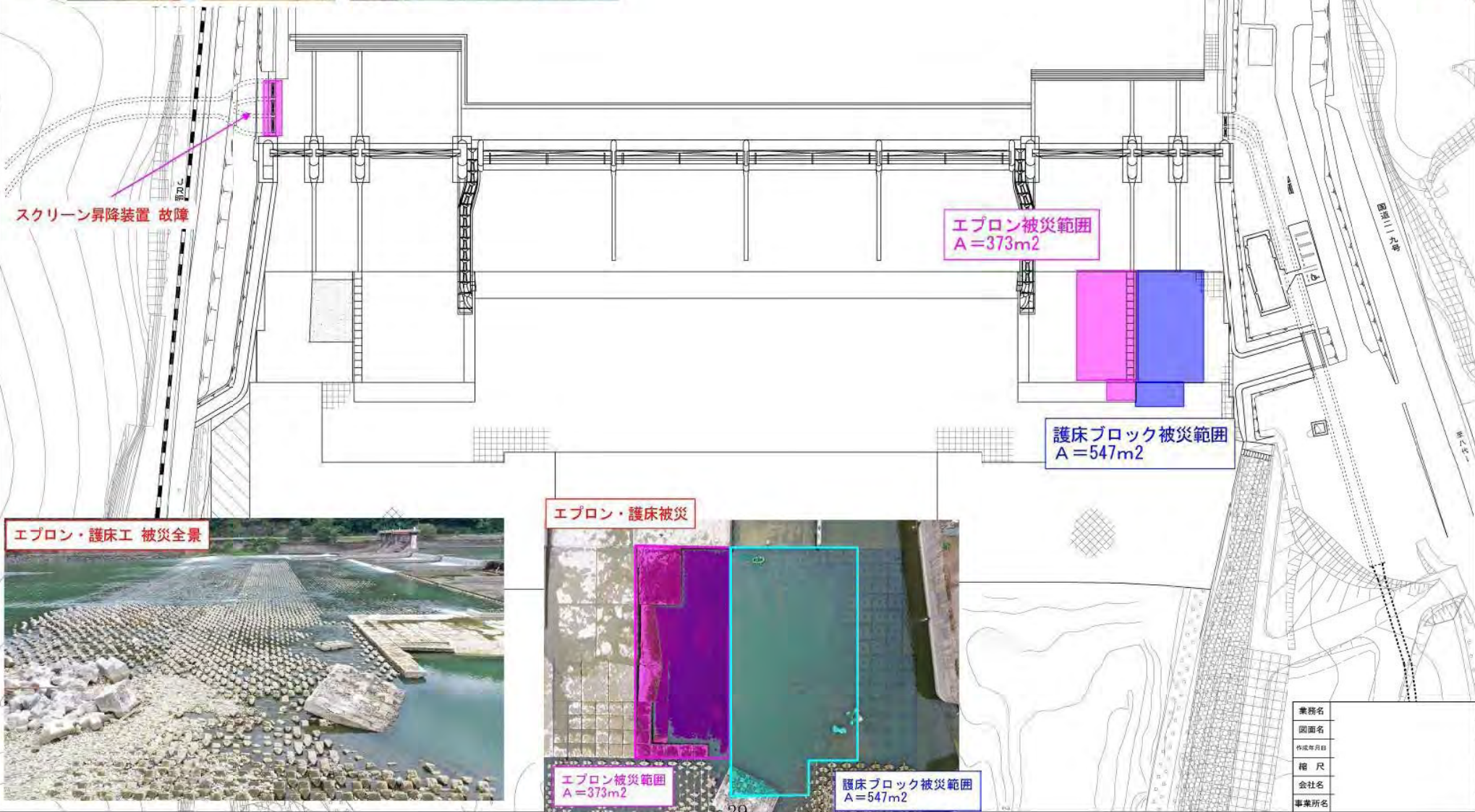
スクリーン昇降装置 被災前



右岸側

左岸側

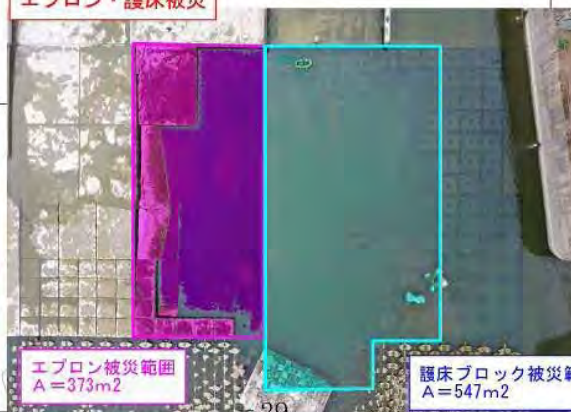
スクリーン昇降装置 故障



エプロン・護床工 被災全景



エプロン・護床被災



業務名
図面名
作成年月日
縮尺
会社名
事業所名

令和2年7月豪雨における国有林の被害状況等(熊本県内)

林 野 庁
九州森林管理局

- 集中豪雨に伴い国有林内で多数の山腹崩壊や溪流荒廃等被害が発生

被害の状況

九州局管内

【林 地】 1 0 8 箇所 44.0億円

【治山施設】 1 箇所 0.7億円

【林道施設】 3 5 7 箇所 17.4億円

うち熊本県

【林 地】 1 9 箇所 22.5億円

【林道施設】 1 2 8 箇所 3.9億円

○ 被害調査

- ・ 発災直後、被害状況把握のため熊本県と合同でヘリコプターによる森林被害調査を実施。
- ・ 熊本県からの要請を受け、森林管理局職員が民有林の被害調査を支援。

崩壊地の状況 (ヘリ調査)



湯前町



八代市

治山ダム

溪流の縦横侵食の防止により溪床の安定、山脚の固定及び土砂の流出抑止・調節を図る。

(スリットダム)

堤体内を流水が通過できる構造であり、洪水時の土砂移動の抑止のほか、流木等浮遊物を捕捉。

山腹工

崩壊又は拡大崩壊のおそれのある山腹斜面に対して、複数の工種を組合せて斜面の安定を図る。

被災状況



復旧イメージ



令和2年は、7月豪雨や台風等により県内各地で県や市町村が管理する河川、道路等の公共土木施設に大きな被害が発生しました。これらの被災施設の早期復旧を図るため、国土交通省及び財務省による「公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法」に基づく災害復旧事業の災害査定を、7月末から実施してきたところです。

この度、1月22日をもって令和2年7月豪雨等により被災した公共土木施設の災害査定が完了しました。

【災害査定の結果】

県市町村の総計（国直轄による権限代行分や熊本市分は含まない。）

箇所数：3,694箇所（うち7月豪雨分 3,620箇所）

決定額：約820億円（うち7月豪雨分 約812億円）

災害査定の結果内訳（※1）

（単位：百万円）

	県分		市町村分		合計	
	箇所数	金額	箇所数	金額（※2）	箇所数	金額（※2）
令和2年災全体	1,609	45,960	2,085	36,089	3,694	82,048
うち7月豪雨分	1,582	45,651	2,038	35,596	3,620	81,247

※1 災害査定の結果については、国道219号等の国直轄による権限代行分や熊本市分は含まない。

※2 決定額には、仮決定金額（※1）も含まれるため、今後金額に変更が生じる場合があります。

*1 1箇所の決定金額が6億円以上で査定時に採択保留されている箇所

（参考1）今回の「決定額」と、8月に発表した「被害報告額」の違いについて

・昨年8月に発表した「被害報告（4,715箇所、約1,452億円）」は、県市町村の公共土木施設の被害額を集計したものであり、国による権限代行分（180箇所、約564億円）を除くと4,535箇所（※2）、約888億円となります。

*2 査定決定箇所数との差は、複数の被害報告箇所を1箇所として災害査定を申請したことなどによるもの

（参考2）平成28年災害（熊本地震等）との比較

・平成28年の公共土木施設の査定決定件数は4,830箇所、決定金額は約900億円です。

市町村別公共土木施設査定決定額(※1)

(金額:百万円)

市町村名	県	市町村(※3)	計
熊本市	9		9
八代市	4,402	2,263	6,665
人吉市	2,615	8,066	10,681
荒尾市	560	91	651
水俣市	511	548	1,059
玉名市	192	16	208
山鹿市	1,428	755	2,183
菊池市	328	39	367
宇土市	0	6	6
上天草市	19	168	187
宇城市	104	73	177
阿蘇市	543	227	770
天草市	436	1,002	1,438
合志市	32	0	32
美里町	120	100	220
玉東町	6	3	10
南関町	855	421	1,276
長洲町	4	12	16
和水町	421	644	1,065
大津町	114	42	156
菊陽町	11	0	11
南小国町	1,392	851	2,244
小国町	1,452	2,307	3,759
産山村	1,076	166	1,242
高森町	190	60	249
西原村	114	31	145
南阿蘇村	502	100	601
御船町	34	161	195
嘉島町	0	0	0
益城町	39	0	39
甲佐町	23	71	95
山都町	583	584	1,166
氷川町	0	0	0
芦北町	7,840	5,186	13,027
津奈木町	384	727	1,111
錦町	1,254	504	1,758
多良木町	1,938	168	2,106
湯前町	194	930	1,124
水上村	5,273	1,835	7,108
相良村	2,237	1,240	3,476
五木村	1,057	1,448	2,504
山江村	3,321	3,114	6,435
球磨村	(※2)4,000	1,491	5,491
あさぎり町	349	454	803
苓北町	0	187	187
計	45,960	36,089	82,048

※1 国道219号等の国の直轄代行分や熊本市分は含まない。

※2 県が大規模災害復興法に基づき取組む村道の権限代行分を含む。

※3 農業集落排水施設(6件、174百万円)も含む。

「令和2年7月豪雨」等による農林水産関係災害査定について

◆令和2年7月豪雨による農林水産関係公共事業の災害査定額は、約361億円

(1) 農地関係	○農地・農業用施設関係	計	158.5億円
(2) 林業関係	○林道施設、山腹崩壊、災害林地荒廃防止施設	計	110.3億円
(3) 水産関係	○漁場・漁港	計	18.8億円

(1) 農地関係査定状況

	部 門	概 要	査定件数、査定額	備考（被害地域等）
農地等	農地	土砂流入及び法面崩壊等	1,390（件） 5,843,880（千円）	県内全域
	農業用施設	農道及び水路等の損壊	1,200（件） 10,009,223（千円）	県内全域
	農地等査定額 計		15,853,103（千円）	

(2) 林業関係査定状況

	部 門	概 要	査定件数、査定額	備考（被害地域等）
林業関係	林道施設	法面崩壊	587（箇所） 8,449,805（千円）	宇城、玉名、鹿本、菊池、阿蘇、上益城、八代、芦北、球磨、天草
	山地崩壊	山腹崩壊	229（箇所） 10,382,682（千円）	宇城、玉名、鹿本、菊池、阿蘇、上益城、八代、芦北、球磨、天草
	林地荒廃防止施設	治山施設の被災	25（箇所） 1,192,896（千円）	宇城、玉名、鹿本、菊池、阿蘇、八代、芦北、球磨、天草
	林務関係査定額 計		20,025,383（千円）	

(3) 水産業関係査定状況

	部 門	概 要	査定件数、査定額	備考（被害地域等）
水産関係	漁場・漁港	護岸（町管理）の被害、浮桟橋の沈下等	22（箇所） 188,325（千円）	熊本、玉名、八代、芦北
	水産関係査定額 計		188,325（千円）	

農林水産関係 査定額 合計	27,066,811（千円）
---------------	----------------

令和2年7月豪雨による農林水産関係の被害状況

○農地等

球磨村／渡地区（農地土砂堆積、流失）



南小国町／南小国西部地区（農道崩壊）



芦北町／小田浦地区（斜面崩壊）



あさぎり町／清願寺ダム（流木・土砂流入）



令和2年7月豪雨による農林水産関係の被害状況

○林業関係

・林道災害

菊池市／八方ヶ岳線



球磨村／椎屋線



・山地災害

小国町／下城



芦北町／田川



(議題 2)

不落不調の状況について

①国土交通省九州地方整備局

②熊本県・市町村

(議題2) 不調・不落の状況について

熊本県内(直轄) 不調不落状況

熊本県内(直轄) 不調不落状況		
	不調不落件数	不調不落率 (不調不落件数/契約件数)
R 2 年 8 月 ～ R 3 年 1 月	2 2 件	1 5 %
(参考) R 1 年 8 月 ～ R 2 年 1 月	2 1 件	1 5 %

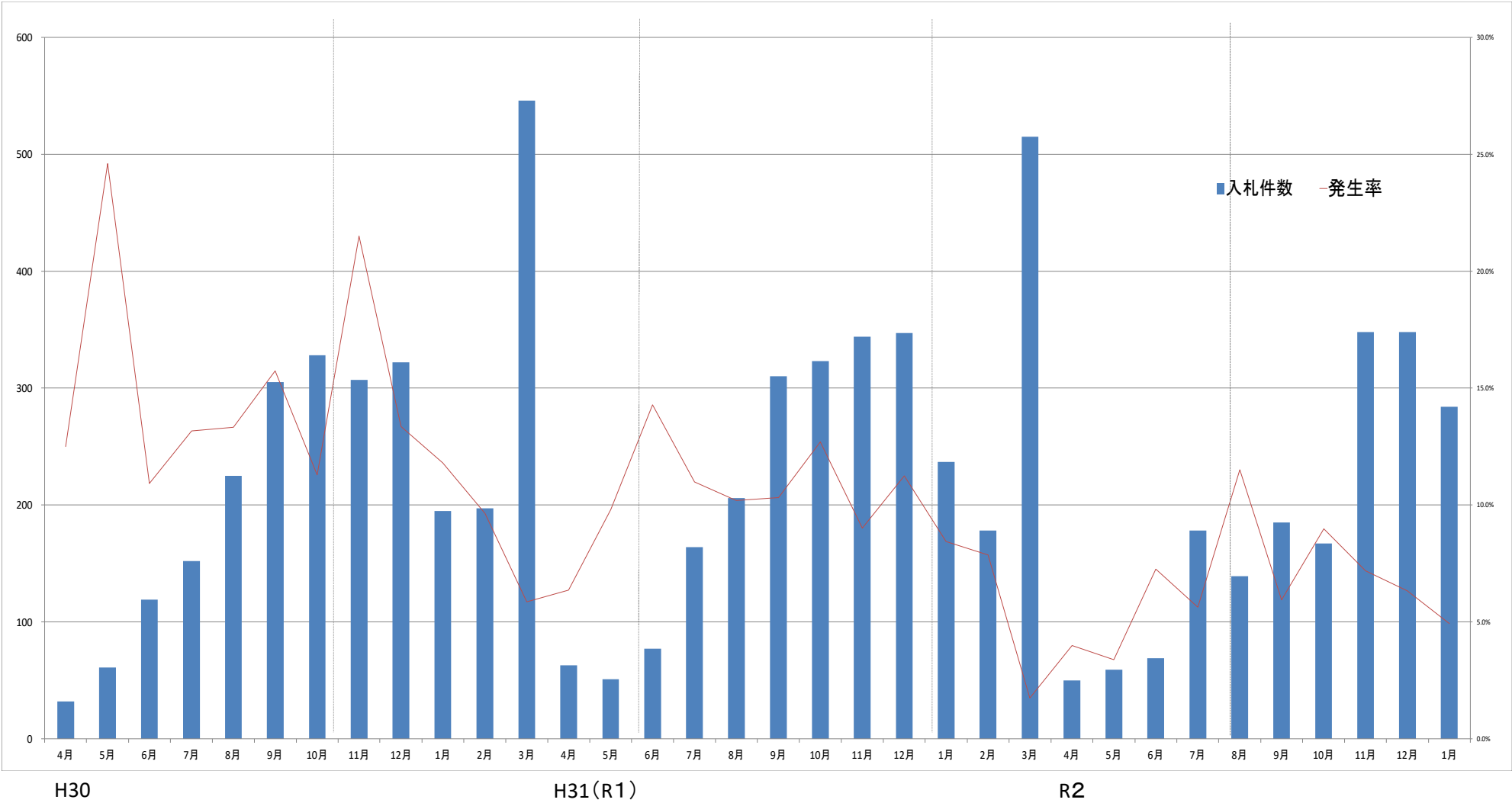
※不調不落の工事については、再発注や変更等で対応済み

熊本県(土木部・農林水産部)の不落不調の状況(平成30年4月以降の推移)



熊本県土木部
Kumamoto Prefecture Civil Engineering Department

年度	平成30年度												平成31年度(令和元年度)												令和2年度											
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月		
入札件数	32	61	119	152	225	305	328	307	322	195	197	546	63	51	77	164	206	310	323	344	347	237	178	515	50	59	69	178	139	185	167	348	348	284		
発生率	13%	25%	11%	13%	13%	16%	11%	21%	13%	12%	10%	6%	6%	10%	14%	11%	10%	10%	13%	9%	11%	8%	8%	2%	4%	3%	7%	6%	12%	6%	9%	7%	6%	5%		
不調件数	4	15	13	20	30	48	37	66	43	23	19	32	4	5	11	18	21	32	41	31	39	20	14	9	2	2	5	10	16	11	15	25	22	14		



令和2年度県工事における不調不落状況一覧(農林水産部、土木部)

令和2年1月末現在

(1) 年度別件数

年度	入札件数	不調件数		不落件数		合計	(発生率)
		入札者なし	1者入札	失格	内訳書不備等		
平成30年度	2,789	255	85	6	4	350	12.55%
令和元年度	2,815	152	84	5	4	245	8.70%
令和2年度	1,828	83	36	2	2	123	6.73%

(2) 発注機関別件数

年度・月	本庁	熊農	熊土・益城	宇城	上益城	菊池	玉名	鹿本	阿蘇	八代	芦北	球磨	天草	合計
H30	65	36	37	49	58	3	7	8	45	21	1	4	16	350
R1	43	20	29	15	31	3	11	4	39	16	3	4	27	245
R2	26	8	7	7	16	5	4	9	1	6	5	8	21	123
R.2年度入札件数	138	31	111	124	130	194	127	78	198	133	132	170	262	1828
発生率(%)	18.8	25.8	6.3	5.6	12.3	2.6	3.1	11.5	0.5	4.5	3.8	4.7	8.0	6.73

(3) 月別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入札件数(A)	50	59	69	178	139	186	167	348	348	284			1,828
不調不落件数(B)	2	2	5	10	16	12	15	25	22	14			123
(うち 1者入札)	1	0	1	4	6	5	5	8	4	2			36
発生率(%)	4.0%	3.4%	7.2%	5.6%	11.5%	6.5%	9.0%	7.2%	6.3%	4.9%			6.73%

(4) 発注業種別件数

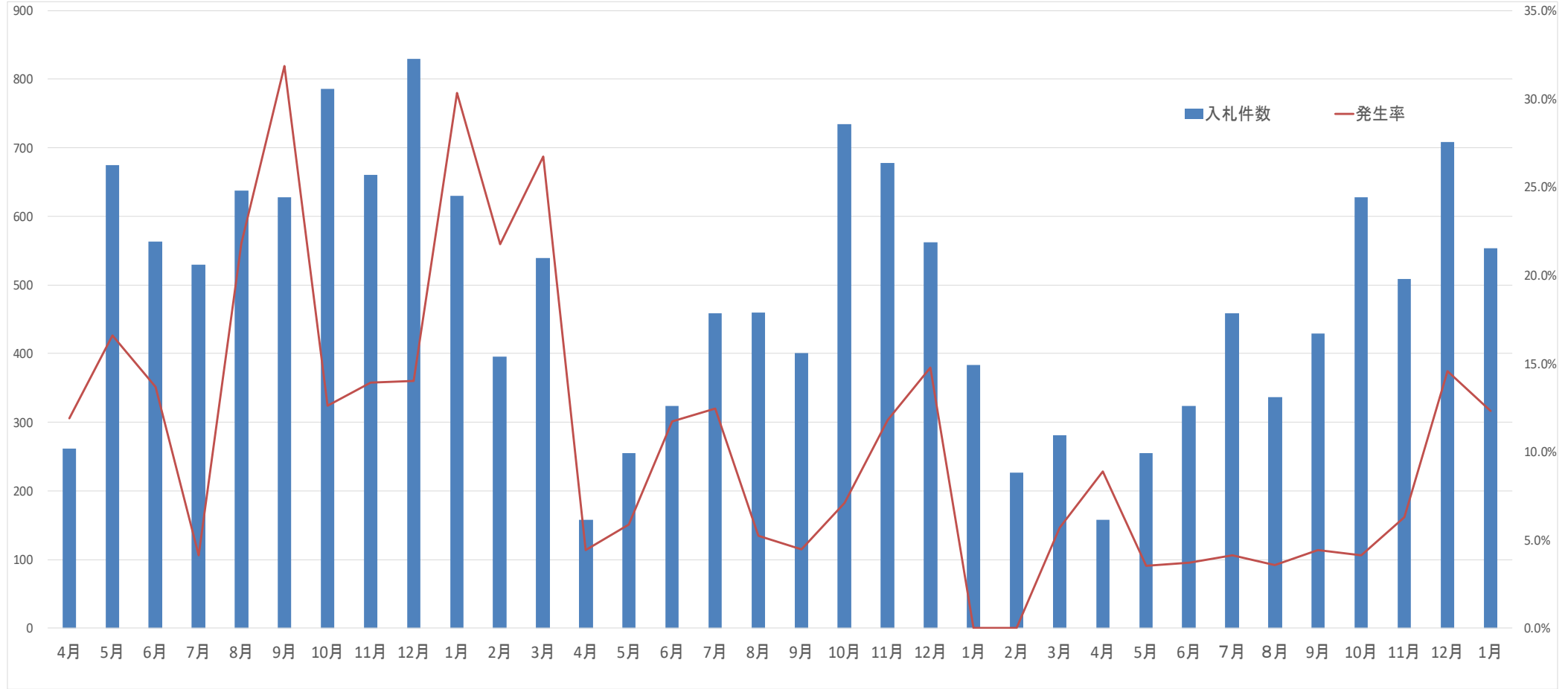
業種	件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	(発生率)
土木	不調・不落	1	1	2	4	8	7	12	20	16	13			84	8.58%
	入札件数	35	36	31	89	75	115	110	171	166	151			979	
建築	不調・不落	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0			4	10.00%
	入札件数	1	0	6	6	5	4	5	1	7	5			40	
舗装	不調・不落	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0.00%
	入札件数	4	13	13	27	7	20	15	108	78	58			343	
電気	不調・不落	0	0	1	2	0	1	0	1	0	0			5	8.62%
	入札件数	4	3	7	10	4	11	6	3	8	2			58	
管	不調・不落	0	0	1	4	5	2	2	2	1	0			17	41.46%
	入札件数	0	0	3	8	7	6	5	3	6	3			41	
その他	不調・不落	1	1	0	0	3	1	1	1	4	1			13	3.68%
	入札件数	6	7	9	38	41	30	26	62	83	51			353	

熊本市町村の不落不調の状況(平成30年4月以降の推移)



熊 本 県 土 木 部
Kumamoto Prefecture Civil Engineering Department

年度	平成30年度												平成31年度(令和元年度)												令和2年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月		
入札件数	261	675	563	530	637	628	786	660	829	630	395	539	158	255	324	459	460	401	734	678	562	384	227	281	158	255	324	459	337	429	628	509	708	553		
発生率	12%	17%	14%	4%	22%	32%	13%	14%	14%	30%	22%	27%	4%	6%	12%	12%	5%	4%	7%	12%	15%	0%	0%	6%	9%	4%	4%	4%	4%	4%	4%	6%	15%	12%		
不調件数	31	112	77	22	139	200	99	92	116	191	86	144	7	15	38	57	24	18	52	80	83	0	0	16	14	9	12	19	12	19	26	32	103	68		



H30

H31(R1)

R2

令和2年度 県内市町村工事における不調不落状況一覧

令和3年1月末現在

(1) 年度別件数

年度	入札件数	不調不落件数	(発生率)
平成30年度	7,133	1,309	18.4%
令和元年度	5,446	466	8.6%
令和2年度	4,360	314	7.2%

(2) 広域本部(地域振興局)管内別件数

年度	県央	宇城	上益城	菊池	玉名	鹿本	阿蘇	八代	芦北	球磨	天草	合計
H30	158	100	805	6	13	41	55	17	0	28	86	1,309
R1	97	39	174	2	4	15	19	25	1	17	73	466
R2	61	24	53	3	2	15	20	14	4	17	101	314
R2入札件数	762	368	466	401	486	162	380	304	204	246	581	4,360
R2不調・不落発生率	8.0%	6.5%	11.4%	0.7%	0.4%	9.3%	5.3%	4.6%	2.0%	6.9%	17.4%	7.2%

(3) 令和2年度月別不調・不落件数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入札件数	158	255	324	459	337	429	628	509	708	553			4,360
不調不落件数	14	9	12	19	12	19	26	32	103	68			314
発生率	8.9%	3.5%	3.7%	4.1%	3.6%	4.4%	4.1%	6.3%	14.5%	12.3%			7.2%

(4) 令和2年度発注業種別不調不落の件数

業種	件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	(発生率)
土木	不調・不落件数	5	5	5	11	1	9	15	18	92	61			222	10.7%
	入札件数	60	105	125	210	119	165	260	239	446	343			2,072	
建築	不調・不落件数	3	1	3	2	5	5	2	7	1	2			31	8.8%
	入札件数	16	17	31	42	29	48	55	46	31	39			354	
舗装	不調・不落件数	0	1	0	0	1	0	1	1	3	2			9	2.0%
	入札件数	19	44	49	46	39	44	65	57	57	40			460	
電気	不調・不落件数	0	0	2	0	1	0	0	0	0	1			4	1.6%
	入札件数	11	21	19	19	37	23	40	34	20	25			249	
管	不調・不落件数	0	0	1	1	1	2	2	3	1	1			12	3.9%
	入札件数	14	17	34	44	36	28	37	45	28	28			311	
その他	不調・不落件数	6	2	1	5	3	3	6	3	6	1			36	3.9%
	入札件数	38	51	66	98	77	121	171	88	126	78			914	